

【熊本S. J. C. D. 例会 抄録】

演 題 治療後5年して崩壊してきている1症例

演者名 三村彰吾

日 付 2007年5月29日

keywords

1. 咬合崩壊
2. 受圧加圧
3. マテリアル

抄 録

患者さんは、74歳の男性、初診日は2000年7月下顎前歯部の動揺と咬合痛が主訴で来院されました。基礎資料収集後、初期治療を行い、補綴治療を行いました。治療には約1年半かかりました。そして今年3月に再来院されました。上顎前歯部が崩壊寸前でした。

崩壊の原因として受圧加圧の問題、補綴物のマテリアル（ハイブリッドレジン）の問題が考えられました。

今回の症例で初期治療の大切さ、補綴設計の大切さ、そしてメンテナンスの大切さを痛感させられ、自分の技量の未熟さを思い知らされました。

今回は術前、術直後、5年後と検証させていただき、皆様方のご指導をいただければ幸いと存じます。